

彩都の丘で一貫校としての運動会

11月になり、朝夕に少しずつ肌寒さを感じる季節になりました。先月10月19日（土）20日（日）に第14回彩都の丘学園運動会を実施しました。天候の関係で、2日間に渡っての運動会となりましたが、保護者のみなさんには大いなるご理解とご協力を賜りまして、大変ありがとうございました。19日は123年からスタートしたものの3学年ともひとつめの種目を終えたところで、大粒の雨が降り出しました。その続きは20日に順延とさせていただきます。その間、4年から9年の子どもたちは、異学年交流会の動画を見たり、その感想を書いたりして、お弁当までの時間も有効に活用できたようでした。8年は動画を見ながら、「(下の学年の)演技のダンスがとてもかわいかった！」等の感想を述べていたそうです。さて、20日は、幸い晴天に恵まれました。本番までの一人ひとりの努力の成果が発揮されるよう、クラス、学年での「横のつながり」での練習の成果が発揮されるよう、念じながら応援しました。子どもたちは、保護者のみなさんに精一杯のパフォーマンスを披露しました。本部テントでは、PTA会長さんをはじめとして、青少年を守る会さん、青少年指導員さん、民生委員さん防犯委員さん、日頃よりお世話になっている地域の方々も子どもたちの発表に拍手して下さっていました。教室での閉会式では、1~9年のパフォーマンスに対して心を込めて10分ほどにまとめてメッセージを伝えました。(本当はもっと多くのことを伝えたかったです。)一貫校ならではの「たてのつながり」を見て、胸が熱くなりました。

運動会までに、今年も258年、149年、367年の異学年で運動会交流を実施しました。また今年始めて、789年リハーサルに56年が参加する機会もありました。これは「56年にも見ておいてもらいたい」という声があって実現したものでした。56年にとっては、789年運動会実行委員のリーダーシップも印象に残るものだったと思います。「9年生の運動会に臨む姿を肌で感じ、いよいよ自分たちが最高学年となる自覚も芽生えたのではないのでしょうか。」(8年学年だよりより)「それぞれのクラスが一丸となって、懸命に走り、息を合わせて跳び、素晴らしい姿を見せました。・・・時にみんなの手本ともなり、率先して行動した実行委員さんの活躍も素晴らしいものでした。」(9年学年だよりより)9つの学年の学年だよりを読みながら、子どもたちが自分のベストを尽くしたこと、互いのがんばりを応援しあったこと、気持ちをひとつに集中できたこと等々を改めてじっくりと振り返りました。

8年の玉入れでは、奇数組の5組の対戦相手として、1~9年の教職員チームが急遽集まりました。子どもたちのみならず、彩都の丘学園教職員がチームとして、動く場面も特に多かった第14回運動会は、わたしにとってもとても強く思い出に残るものとなりました。保護者のみなさん、地域のみなさんが、子どもたちをあたたく見守り、励まして下さいましたこと、こころより感謝しています。ありがとうございました。